

平成 18 年 1 月 10 日

日本原燃株式会社

第 1 回原子力委員会
資料第 1 - 12 号

六ヶ所再処理工場とMOX燃料工場の現状について

1. 六ヶ所再処理工場について

(1) 工程

- ・ アクティブ試験開始：平成 18 年 2 月 予定
- ・ しゅん工：平成 19 年 7 月 予定

(2) 平成 17、18 年度の再処理計画

- ・ アクティブ試験（平成 18 年 2 月から 17 ヶ月間を予定）では、約 430 トンU の使用済燃料を使用する計画である。
- ・ そのうち、平成 17 年度については、約 15 トンU（九州電力約 15 トンU）、平成 18 年度については、約 258 トンU（東京電力約 67 トンU、関西電力約 130 トンU、九州電力約 48 トンU、日本原子力発電約 13 トンU）の使用済燃料を使用する計画である。
- ・ この結果、平成 17 年度は約 0.1 トンの核分裂性プルトニウム（Puf）、平成 18 年度は約 1.5 トンの核分裂性プルトニウム（Puf）を回収する見込みである。

2. 六ヶ所MOX燃料工場について

(1) 工程

- ・ 着工：平成 19 年 4 月 予定
- ・ しゅん工：平成 24 年 4 月 予定

(2) 概要

- ・ 最大加工能力 130 トンHM/年。（HM：MOX燃料中のプルトニウムとウランの金属成分の重量）
- ・ 再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の南側に設置。
- ・ 原料MOX粉末は、再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋から受け入れる。

(3) 現状

- ・ 平成 17 年 4 月 20 日に核燃料物質加工事業許可申請を行い、現在、一次審査中。

以 上